

夢つむぐ島 一島人みんなで織り上げる未来



施策31 「老いる」世代のために▶高齢者福祉の充実

高齢者が安心して暮らせる島づくり



今回のテーマは、「老いる」世代のために～高齢者が安心して暮らせる島づくり～についてお伝えします。

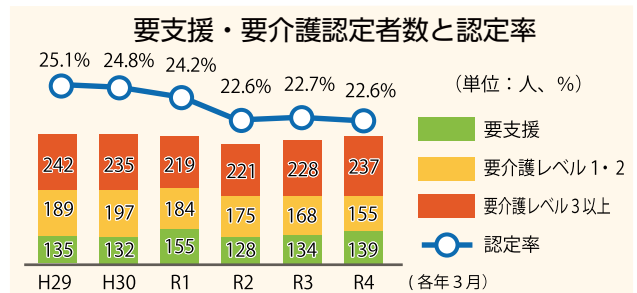
現状と課題

介護・医療体制

- ◆栄養改善が必要な高齢者に対する配食サービスを行っています。同サービスを行うことで、安否確認にもつながっています。
- ◆生活支援コーディネーターと連携を図り、高齢者が必要としていること、困っていることを把握し、高齢者福祉や介護保険サービス、医療受診に繋げる必要があります。
- ◆介護保険被保険者が安心して介護保険サービスを受けることができるよう、医療機関や介護事業所などと連携した、介護・医療体制づくりに取り組んでいます。
- ◆居宅介護支援事業所等と連携し、介護支援専門員の負担軽減、人材の確保・育成が必要となっています。
- ◆介護福祉分野の専門職や従事者が人材不足となっています。増加する高齢者へ必要なサービスを提供するための介護に携わる人材の確保や育成が必要です。
- ◆町内の2つの特別養護老人ホームの利用率は常に高い状況にあり、入所定員数の増加について要望があります。特に島外の施設へやむを得ず入所する方への対応が必要です。
- ◆認知症初期集中支援体制の構築及び強化が必要です。また、多くの町民に認知症カフェを知ってもらうとともに、気軽に参加できるよう工夫する必要があります。

高齢者ケア

- ◆高齢者の筋力向上を目的とした予防教室を実施し、介護予防に努めています。
- ◆独居高齢者や高齢者世帯等の閉じこもり対策を行い、社会参加を促進しています。
- ◆法人後見の活動等に向けて、地域の実態把握や情報連携の強化が必要です。
- ◆自立支援や重度化防止に向けた地域ケア会議を早期に設置する必要があります。
- ◆地域で見守っていく中で重要な役割を担う民生委員・児童委員の定員充足が十分でない状況となっています。



出典：沖縄県介護保険広域連合 介護保険事業状況報

施策の展開

介護・医療制度の充実

- ◆栄養改善が必要な高齢者を対象に栄養バランスの取れた食事を提供し、栄養改善を図ります。
- ◆医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることが出来るよう、医療機関や介護事業所などの関係者と連携を強化し、在宅医療と介護の一体的な提供を図ります。
- ◆島内の居宅介護支援事業所等と連携し、介護職員及び関係者の負担軽減や人材の確保・育成を図ります。
- ◆介護が必要となっても安心して暮らしていけるよう、介護給付サービスの充実や従事者の質の向上を図るとともに、介護保険料の低減に向けた介護予防等の取り組みを推進します。
- ◆認知症の早期診断や早期対応、継続的なケアに向けた支援体制を構築します。

健やかで活動的な高齢期を過ごせる地域づくり

- ◆特に要介護者の重度化防止を図るため、介護予防の普及啓発活動に努めます。
- ◆独居高齢者や高齢者を対象に通いの場を提供し、地域活動の充実や閉じこもり防止に努めます。
- ◆地域包括ケアシステムの構築、後見人制度の周知及び担い手確保・育成を推進し、地域包括ケアや見守りなどの体制の整備を図ります。
- ◆高齢者それぞれの価値観や生き方が尊重され、その人らしい人生を送ることができるように、高齢者の自立をみんなで支える地域づくりに努めます。
- ◆コミュニティバスの導入や町営バスのルート変更など、県内外の事例を参考にしながら、本町における移動が困難な方への支援のあり方を検討します。

目指そう指標

地域サロン参加人数 (20公民館等通いの場提供)

基準値(令和元年) 2,400人

目標値(令和7年) 2,640人

後期基本計画の全体版は久米島町ホームページに掲載しています。

右のQRコードか、「久米島町総合計画」で検索し、ぜひご覧ください▶▶▶

久米島町総合計画

検索

